

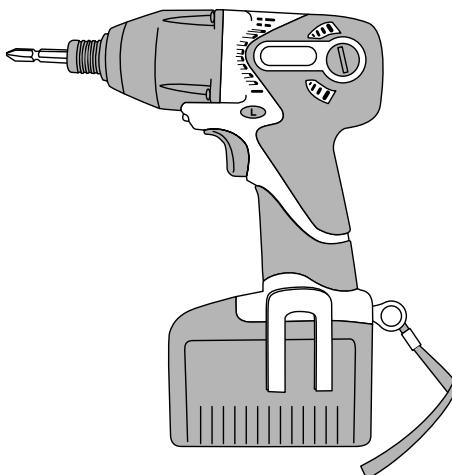


Fujiwara
Sangyo Co.,Ltd.
HYOGO JAPAN

充電インパクトドライバー

SI-144SLB-15Li

取扱説明書



このたびは、SK11 充電インパクトドライバー SI-144SLB-15Li をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく、安全にご使用ください。
また、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。
※外観及び使用などは製品改良のため、一部変更することがありますのでご了承ください。

目次

安全上のご注意 P2~9

安全確保のために	P2
充電電動工具を安全にお使いいただくために	P3~6
充電インパクトドライバーを安全にお使いいただくために	P7~9

仕様・各部名称・用途 P9~11

仕様	P9
各部の名称(本体)	P10
各部の名称(バッテリー・充電器)	P10
用途	P10
付属品・別売品	P10
使用能力の目安(一回の充電)	P11

準備 P11~17

ご使用前の準備	P11
充電のしかた	P11~15
ご使用前の調整	P15~17

使い方 P17

ネジ締め、ボルト締め	P17
------------	-----

困ったときは P17~18

故障かな?と思ったら	P17
修理を依頼するときは	P18

保守 P18

クリーニング	P18
保管	P18
カーボンブラシの交換	P18

1. 安全上のご注意

安全確保のために

- 火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」のすべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いなる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告表示・注意表示について

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生ずる被害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

△警告 この表示の欄は、「使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

△注意 この表示の欄は、「使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。

②この表示の欄は、製品の据付、操作、メンテナンスに関する重要な注意事項です。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

絵表示について

- お守りいただく内容の種類を、以下の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。



この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。

充電工具を安全にご使用いただくために



■ 作業場の環境について

作業場の周囲状況も考慮してください。



- ・工具本体、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の可能性があります。



- ・作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の原因になります。

- ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

騒音防止規制について。



- ・騒音に関しましては、法令や各都道府県などの条例で定められた規制があります。ご近所に迷惑をかけないようにご使用ください。



作業場はいつもきれいに保ってください。

- ・ちらかった場所や作業台は事故の原因となります。



子供を近づけないでください。

- ・作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- ・作業者以外、作業場へ近づけないでください。

■ バッテリーに関する安全事項

専用の充電器やバッテリーを使用してください。



- ・お手持ちの機種の取扱説明書やカタログに記載されている指定の充電器やバッテリー以外は、使用しないでください。破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

正しく充電してください。

- ・この充電器は、定格表示である電源で使用してください。
- ・直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ・温度が0°C未満、あるいは温度が40°C以上では、バッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・バッテリーは換気の良い場所で充電してください。
- ・バッテリーや充電器を、充電中布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。



- ・使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。



バッテリーの端子間を短絡させないでください。

- ・釘袋などに入ると、短絡して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。



バッテリーを火中に投入しないでください。

- ・破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。



使用時間が極端に短くなったときは使用をおやめください。

- ・バッテリーの液漏れ、発熱、破裂の恐れがあります。



バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で充分洗い、医師の治療を受けてください。

- ・失明の恐れがあります。

■ 個人的な警告事項



感電に注意してください。

- ・スイッチに指をかけて運ばないでください。
- ・ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。



材料を加工する工具では、加工する材料をしっかりと固定してください。

- ・加工する材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
- 手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(加工する材料を動かす製品は除く)



不用意な始動は避けてください。

- ・スイッチに指をかけて運ばないでください。
- ・バッテリーパックを本機に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。



保護メガネを着用してください。

- ・作業時は、保護メガネを使用してください。また粉じんの多い作業では防じんマスクを着用してください。



■ 工具の使用と手入れ

次の場合は、充電工具のスイッチを切り、バッテリーパックを本機から抜いてください。

- ・使用しない、または修理する場合。
- ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ・その他危険が予想される場合。

■ 電気に関する安全事項

充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・コードを熱、油、角のとがったところに近づけないでください。
- ・コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することができないように、充電する場所に注意してください。感電やショートして発火する恐れがあります。

!**屋外使用に合った延長コードを使用してください。**

- ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

△注意

■ 個人的な注意事項

きちんとした服装で作業してください。

- ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。

!**屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。**

- ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ・充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況などを十分注意して慎重に作業してください。
- ・常識をはたらかせてください。
- ・疲れている場合は、使用しないでください。

!**防音保護具を着用してください。**

- ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。

!**無理な姿勢で作業をしないでください。**

- ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

!**調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。**

- ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。

!**作業にあつた充電工具を使用してください。**

- ・小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行う作業に使用しないでください。
- ・指定された用途以外に使用しないでください。

無理して使用しないでください。

- ・安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
- ・モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

■ 工具の使用と手入れ

!**使用しない場合は、きちんと保管してください。**

- ・乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または錠のかかる所に保管してください。

!**損傷した部品がないか点検してください。**

- ・使用前に、安全カバーやその他の部品に損傷が無いか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整及び締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- !**・破損した安全カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。**
- ・取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- ・スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- ・スイッチで始動及び停止操作のできない充電工具は、使用しないでください。

!**充電工具は、注意深く手入れをしてください。**

- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・よく読む
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・点検・確認
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。
- ・けがの原因になります。

!**正しい付属品やアタッチメントを使用してください。**

- ・取扱説明書及びカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やケガの原因となる恐れがありますので使用しないでください。

■ 修理とメンテナンス

!**充電工具の修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。**

- ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので、改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い求めの販売店にお申付けください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく事故やケガの原因となります。
- ・工具本体が熱くなったり、異常に気付いたときは、お買い求めの販売店へ点検・修理を依頼してください。

充電インパクトドライバーを安全にご使用いただくために

- 先に充電電動工具を安全にお使いいただくための重要事項について述べましたが、充電インパクトドライバーをご使用の際には、さらに次に述べる「警告・注意事項」を守ってください。



■ 作業の前に

- 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋没物がないことを、作業前に十分確かめてください。
点検・確認
 - ・埋没物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。

- 誤って落としたり、ぶつけたときは、キリなどの工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
点検・確認
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

- 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
禁止
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。

■ バッテリー・充電器について

- 充電器のバッテリー挿入穴には充電用端子があります。
禁止
 - ・金属片・水などの異物を入れないでください。

- バッテリーは発煙、発火、破裂の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
禁止
 - ・端子に金属類を接触させないでください。
 - ・釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れないでください。
 - ・雨や水にぬらさないでください。

- 火災の恐れがあります。次のようなことはしなでください。
禁止
 - ・ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニール等の上では充電しないでください。
 - ・風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物を差し込まないでください。
 - ・綿はこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

- ラッカー、ペイント、ベンジン、うすめ液、ガソリン、ガス・接着剤などのある場所では充電しないでください。
禁止
 - ・爆発や火災の恐れがあります。



充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

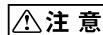
■ 穴あけ・締め付け作業に関して

- 使用中は、振り回されないよう本体を確実に保持してください。
 - ・確実に保持していないと、けがの原因になります。



使用中は、キリなどの工具類や回転部、切りクズなどの排出物に手や顔などを近づけないでください。

- ・けがの原因になります。



- 使用中は軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
回転部注意
 - ・回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

- 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちにプラグを抜いて充電を中止してください。
 - ・そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。



- 工具類(ビットなど)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
よく読む
 - ・確実でないと、はずれたりして、けがの原因になります。

- 細径のドリルは折れやすいので注意してください。
 - ・飛散して、けがの原因になります。

- 穴あけ直後のドリルや切りくずは高温になっているので、触れないでください。
禁止
 - ・やけどの原因になります。

- 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
点検・確認
 - ・材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。

- ネジに合ったビットをご使用ください。

電源が離れていて、延長コードが必要なときは、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただけます。十分な太さのコードができるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ(公称断面積)と最大長さの関係

コードの太さ(導体公称断面積)	コード最大長さ
0.75mm	20m
1.25mm	30m

延長コードは充電器のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

2. 仕様・各部名称・用途

仕様

本体品番	SI-144SLB-15Li
仕様	
モーター電圧	DC14.4V
回転数	0~2500min ⁻¹ (回転/分)
打撃数	0~2700min ⁻¹ (回転/分)
質量	約1.5kg(バッテリーパック含む)
締め付けトルク	最大140N·m
本体寸法	長さ約170mm×幅約60mm×高さ230mm

充電器品番	MHCL04-40
仕様	
入力	AC100V 50/60Hz 130VA
出力	DC16.6V 4.0A
質量	約0.65kg
充電時間	約50分

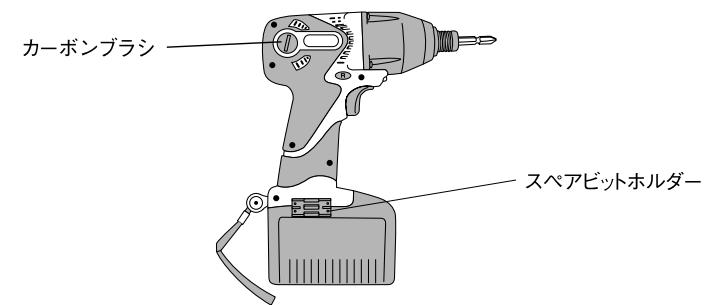
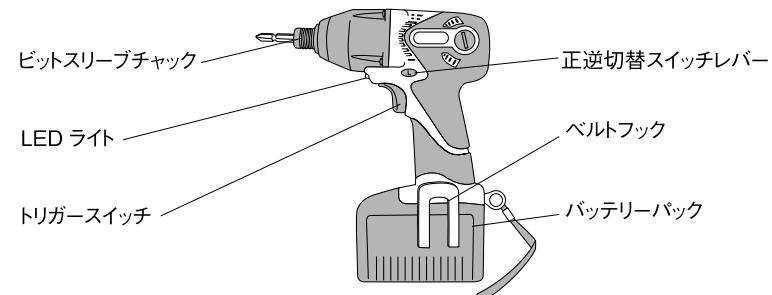
バッテリーパック品番	SBP144-15Li
仕様	
バッテリー種類	リチウムイオンバッテリー
バッテリー電圧	3.6V × 4セル=14.4V
バッテリー容量	1500mAh

※上記の専用充電器(MHCL04-40)以外は、充電に使用しないでください。

※バッテリーパックのリサイクルにご協力ください。使用済みのバッテリーパックは完全に使い切った後(完全放電)金属端子部分をテープ等で絶縁してからお買い求めの販売店にお持ちください。

※改良のため、仕様および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

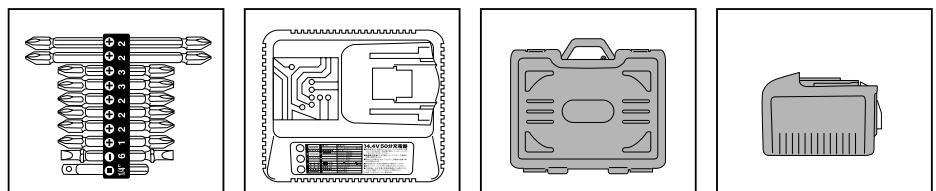
各部の名称



用途

- ネジ(木ネジ・ドリルネジ・鉄板ビス等)の締め付け・ゆるめ
- ボルト・ナットの締め付け・ゆるめ

付属品



スクリュービットセット
10pcs

充電器
(品番: MHCL04-40)

キャリングケース

予備バッテリー
(品番: SBP144-15Li 1.5Ah)

使用能力の目安(1回の充電)

ネジ締め	木ネジ $\phi 3.5 \sim \phi 5.8$
	テクスネジ $\phi 3.5 \sim \phi 6.0$
ボルト締め	普通ボルト M6～M12
	高力ボルト M6～M10
締め付けトルク	最大約140N·m

1回の満充電による使用能力(周囲20°C)

	ネジ寸法	材料	締付本数
木ネジ	$\phi 4.1\text{mm} \times 38\text{mm}$	米松	195本
	$\phi 5.8\text{mm} \times 57\text{mm}$	米松	40本
テクスネジ	$\phi 4\text{mm} \times 13\text{mm}$	冷間圧延鋼板 1.6mm圧	195本

3.準備

ご使用前の準備

作業場に関して

- ・作業場は整頓をして、明るくしてお使いください。

作業台を用意します

- ・しっかりした作業台をご用意ください。作業中にぐらつくと危険です。
- ・小さな材料に穴をあける場合、材料をクランプ等で作業台に固定してください。

充電のしかた

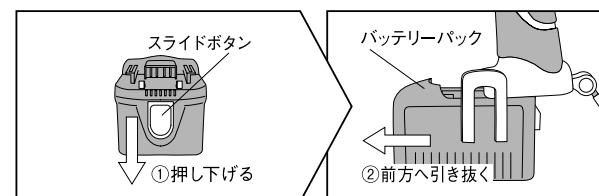
△注意 **△** ・バッテリーに強い衝撃を与えないでください。

1) バッテリーの取り付け・取り外し方

△注意 **△** ・正転・逆転安全ロック切替スイッチを安全ロック(中間)の位置にした状態で行ってください。不意に作動状態になりますと、けがの原因になります。

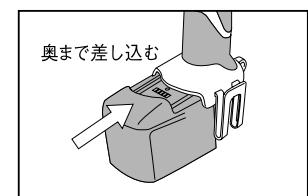
● 取り外し方

バッテリーパックをインパクトドライバー本体から取り外す時はバッテリーパック後方部のスライドボタンを下へ押し下げた状態で、バッテリーパックを前方へスライドさせますと取り外すことができます。



● 取り付け方

バッテリーパックをインパクトドライバー本体へ取り付ける時は、逆の要領で、インパクトドライバー本体側の溝とバッテリーパックのレールを合わせてスライドボタンを押し下げた状態で奥まで挿入してください。



△注意 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

- ・確認を怠りますと、不意にバッテリーパックが脱落し、重大な事故を起こす恐れがあります。

2) バッテリーの充電

ご購入いただいたてすぐや長期間未使用の場合、バッテリーが十分に充電されていません。

ご使用前に必ず付属の充電器で充電を行ってからご使用ください。

充電は周囲温度10～40°Cの範囲で行ってください。

- ・バッテリーの破裂や火災の原因となります。

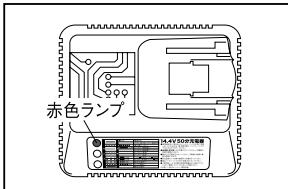
△警告 エンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。

- ・よく読む・充電器が故障します。

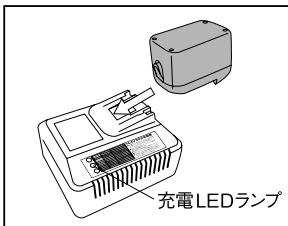
充電完了後は、充電器からバッテリーパックを抜き取り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

充電方法

(1) 充電器の電源プラグを100Vのコンセントに差し込みます。このとき充電器よりブザーが1回鳴り、充電器の赤ランプが点灯します。



(2) バッテリーパックの両端にあるレールと充電器の溝を合わせて、奥までしっかりと挿入してください。このとき緑ランプが点灯します。



- △注意**
- ・バッテリーの状態によっては、緑色のランプ点灯以外の表示になります。
- P14~15の表を参考にしてください。

(3) 緑ランプの点灯が点滅に変わったら充電完了です。

充電ランプの表示

充電状態を充電器のLEDランプの表示（赤・緑・黄）とブザーでお知らせします。P14～P15の表を参考に適切な充電作業をお願いします。

- △注意**
- ・ご購入後初めて使用される際は、必ずバッテリーパックを充電してからご使用ください。
 - ・黄色ランプ点灯を解除するには、バッテリーパックを充電器から取り外し充電器を電源元から抜かなくてはなりません。
 - ・バッテリーパックの修理・点検依頼の際は必ず充電器と一緒にお預けください。

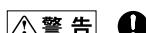


バッテリーの状態		充電器の状態				充電器・バッテリーの状態と対処方法
		赤色ランプ	黄色ランプ	緑色ランプ	充電ブザー	
通常充電	電源ON	■■■				1回
	急速充電中	■■■		■■■		
	充電終了	60～90%	■■■	■■■■ 遅い点滅		3回
充電不可	90%以上	■■■		■■■■ 早い点滅		5回
	バッテリー超高温	■■■	■■■■ 遅い点滅	■■■■ 遅い点滅		約10秒間
充電不可	バッテリー高温	■■■	■■■■ 早い点滅			バッテリー温度が高いため待機中です。一度バッテリーを充電器から取り外して冷ますか、そのままの状態で急速充電が始まるまでお待ちください。
	バッテリー低温	■■■	■■■■ 遅い点滅			バッテリー温度が低すぎて充電できない状態です。バッテリー温度が上がれば自動的に急速充電になりますが、周辺温度が低すぎますとなかなか急速充電に切り替わらない恐れがありますので、一度バッテリーパックを充電器から取り外し温めていただくことをお勧めします。

バッテリーの状態	充電器の状態				充電器・バッテリーの状態と対処方法
	赤色ランプ	黄色ランプ	緑色ランプ	充電フマー	
充電不可	バッテリー低電圧	—	—	—	バッテリーを充電器にセットした際に、赤色ランプの点灯から変化しない場合は、バッテリーの電圧が極端に低下（バッテリーあがり）しています。ゆるやかに充電していますので、バッテリーあがりが解消され急速充電が始まるのを待ってください。
	バッテリー過放電	—	—	5分後ランプ点灯	5分間のゆるやかな充電ではバッテリーあがりが解消されませんでした。バッテリー交換が必要です。
	バッテリー故障	—	· · · · · 遅い点滅	· · · · · 遅い点滅	約10秒間 バッテリーが常温の場合バッテリーまたは充電器に異常があります。お買い求めの販売店へ点検・修理を依頼してください。
	バッテリー違い	—	—	—	約30秒間 バッテリーが付属のバッテリーと同じものかご確認ください。幣社バッテリーSBP12-13,SBP12-20を間違ってセットされると、このようなランプ表示になります。正常に充電できません。また黄色ランプの点灯を解除するためにバッテリーを充電器から取り外し、充電器を電源から抜いてください。
		—	· · · · · 遅い点滅	3回	バッテリーが付属のバッテリーと同じものかご確認ください。幣社バッテリーSBP144-13を間違ってセットされると、左記のように正常に充電されたような表示になりますが十分に充電できません。
	満充電バッテリー	· · · · · 早い点滅	—	—	バッテリー容量が十分なため充電できません。ご使用後に再度充電を行ってください。

■ ご使用前の調整

1) スイッチ操作と正逆回転の切り替え



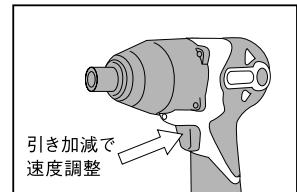
本機にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。
スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと急に回り出したりして、事故の原因になります。

●スイッチ操作

トリガースイッチを引くと電源が入り、離すと切れます。

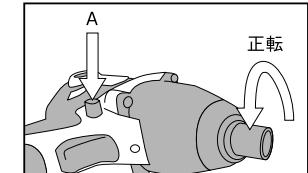
●回転数の調整

スイッチの引き具合により回転数は低速から高速へ無段階に調整できます。



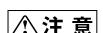
●正転・逆転の切り替え

回転方向は、正逆切替レバーを右図の矢印Aの方向に押すと正転（ネジを締める方向）、矢印Bの方向に押すと逆転（ネジをゆるめる方向）になります。

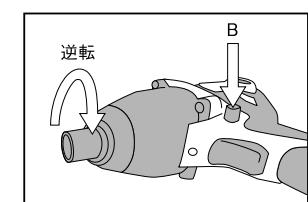


●スイッチロック

正逆切替レバーが中間のとき、スイッチはロックされ、スイッチを引いても電源は入りません。



- ご使用前には必ず回転方向を確認してください。
- 正転・逆転の切り替えは、モーターの回転が停止した状態で行ってください。
回転中に切り替えますと故障の原因になります。
- 本機を使用しないときは、正逆転切り替えレバーを中間の位置にしておいてください。

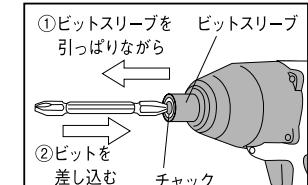


2) 先端工具の取り付け

- スリーブを本体と逆側に引きながら、先端工具をチャック部分に差し込みます。
- スリーブから指を離します。
- 先端工具を軽く引っ張り、抜けないことを確認します。



- ビットを取り付けてもスリーブが元の位置に戻らないときは、ビットの取り付けが不十分です。
ビットをチャックの奥までしっかりと入れてください。

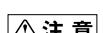


3) 先端工具の取り外し

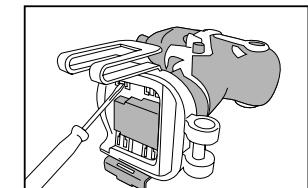
スリーブを本体と逆側に引きながら、先端工具を引き抜きます。

4) ベルトフック・スペアビットホルダーの取り付け取り外し

- バッテリーパックを本体から取り外してください。
- 本体を裏返してバッテリーパック取り付け部内側の爪を細軸の工具などで軽く起こしながらベルトフックスペアビットホルダーを引き抜いてください。



- 爪を破損しないように十分注意してください。
- 爪一個ずつ丁寧に行ってください。

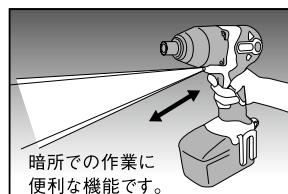


△警告

ベルトフック、ビットホルダーが確実に取り付けられたか確認してください。取り付けが不十分で作業中に外れて、重大な事故につながります。

5) LEDライト

- スイッチを半押しすると、スイッチ上部にあるLEDライトが点灯します。
- スイッチを押している間はLEDライトが点灯します。
- スイッチを離すとLEDライトも消灯します。



■使い方

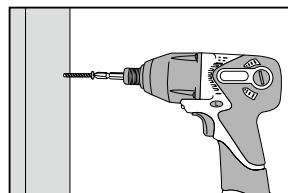
1) 使用方法

作業直後の先端工具は高温になります。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。
低回転での長時間の作業はしないでください。

△警告

- ! ·低回転で作業する場合は、数分間ごとに無負荷状態で最高回転で回し、機体を冷却してください。連続作業の際は、必ずスイッチをいっぱいに引き、最高回転で使用してください。

- (1) 先端工具をネジまたはボルトに当てます。
- (2) スイッチを引き込みます。
- (3) 止めるときは、スイッチから指を離します。スイッチから指を離すと、回転が瞬時に停止します。



ポイント

1. スイッチを引き込む加減で、回転数が調整できます。
2. 木ネジを締め付けるとき、ネジ頭の面と材料の表面が同じ高さになったときにスイッチを離すと、ネジ頭が材料に入り込むことを防止できます。
3. 本体は、締め付けるネジに対して、まっすぐな状態で操作してください。
4. 硬い材料に大きなネジや長いネジを締め付けるときは、あらかじめ下穴をあけると、材料の割れや破損を防ぐことができます。
5. ネジの締め始めは、スイッチを少しだけ引いて低い回転数にし、徐々に引き込んで回転数を上げてください。最初からいっぱいに引き込むと、ネジが倒れたりして危険です。低回転での長時間の作業は行わないでください。

■困ったときは

故障かな?と思ったら

- (1) 取扱説明書を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- (2) 次の代表的な症状が当たるかどうか確かめてください。

症状	原因	対処
スイッチを引き込んでも、回らない	・バッテリーが消耗している ・カーボンブラシが磨耗している	・バッテリーを充電するか、交換する ・カーボンブラシを交換する
スイッチが引き込めない	・正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチが安全ロックまたは、中途半端な位置になっている	・正転か逆転の位置にしっかりと切り替える
充電しても、フル充電しない または、フル充電しても、使用時間が短い	・バッテリーが長時間使用してないものか、購入直後である ・バッテリーの寿命が尽きた ・違うバッテリー	・充電する ・バッテリーを交換する ・バッテリーを確認する

■保守

△警告

- ・万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いておいてください。本体が作動して、けがの恐れがあります。
- ・充電器は、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。



1) クリーニング

△注意

- ! ·油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。
乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
・ガソリン、うすめ液、ベンジン、灯油類は変形の原因になるので使用しないでください。

2) 保管

- 充電インパクトドライバーを使った後は、バッテリーを取り外し、きちんと保管してください。

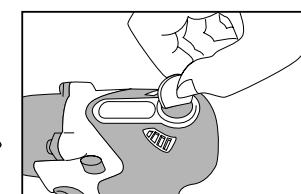
△注意

- ! ·子供の手が届くところ、または錠が掛からないところには置かないでください。
風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かないでください。
・直射日光が当たったり、車中など高温になると置かないでください。特にバッテリーは50°C以上になるところには置かないでください。
ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かないでください。

3) カーボンブラシの交換

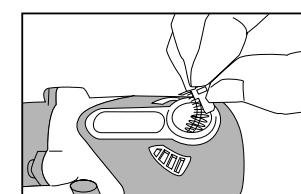
△注意

- ! ·カーボンブラシは定期的に点検してください。
カーボンブラシの残量が残り5mmになります
・とカーボンブラシの交換時期です。



- カーボンブラシが磨耗したときは、必ず左右両側とも交換してください。

- (1) 硬貨でブラシキャップを緩め、取り外してください。
- (2) 使用済みのカーボンブラシを引き抜きます。
- (3) 新しいカーボンブラシを挿入します。
- (4) ブラシキャップを取り付け、硬貨で締め付けます。



保証書

保証期間内に取扱説明書の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	充電インパクトドライバー SI-144SLB-15Li		お買い上げ日	保証期間
			平成 年 月 日	1年
お客様	住所	〒		
	ご芳名			
	電話	()		
販売店	住所			
	店名	TEL	()	

上記欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認下さい。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
(イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ) お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
(二) 本書の提示がない場合。
(ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談下さい。
3. 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存して下さい。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

発売元:藤原産業株式会社

兵庫県三木市福井2115-1
TEL. 0794-86-8200(代)